



かがやく浜の子

令和元年度7月号

令和元年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなへ」

あなたと私

わたしと小鳥とすずと
金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、
お空はちつともとへないが、
とべる小鳥はわたしのよう
地面をはやくは走れない。
わたしがからだをゆすつても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
たくさんのうたは知らないよ
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

7月5日のPTA教育講演会には、多くの保護者の皆さんの御参加、ありがとうございました。講演会では、金子みすゞ研究の第一人者であり、記念館長である矢崎節夫氏からお話をいただきました。

私が特に心に残った言葉は、「あなたと私」です。「あなた」が先、「私」が後ろの位置関係が、相手を大切にすみすゞさんのやさしさを示すものだと知りました。それが、「わたしと小鳥と鈴と」の詩の終末の表現にも表れていることは、純粹な驚きでした。

「先生(親)をやっている」のではなく「先生(親)をやらせてくれる」。自分と子どもとの位置関係を変えることで、考え方が楽になったり、よりよい関係を築いたりすることができると気づくことができました。

しかし、私たちは、「忙しさ」に、文字通り心を亡くし、相手が見えなくなってしまいがちです。お話を通して、教員は児童生徒への接し方を、保護者の皆さんは我が子への接し方を、改めて見つめ直す機会となったのではないのでしょうか。

矢崎氏自身の体験を元にされた、「先生が喜ぶと子どもはうれしくなり、もっとながらうとする」という言葉を思い出し、教員として子どもの前に立てる倅せを感じながら、子ども、保護者、地域のために、日々務めていきたいと思えます。文化部長さんの本講演会の意義付けと期待を整理した開会の言葉、副部長さんの講演の内容を自分自身のこととして述べられたお礼の言葉も、とても素敵で感激しました。



【講演される矢崎氏】

さて、6月には「家族ふれあいの日」の実施とアンケート(ふれあいの内容)への御協力をありがとうございました。集計したところ、最も多かったのは、「一緒に遊ぶ」でした。遊びの内容も実に様々で、トランプの19人を筆頭に、公園遊び13人、カルタ9人、ウノ8人と続き、全部で27種類の遊びがありました。どれもほほえましく感じるものばかりでした。

家族ふれあいの日過ごし方Best 5 (複数回答あり)

順	内容	人数(人)
1	遊び(トランプ、公園での遊びなど)	90
2	日常生活(食事、種蒔き、読書など)	51
3	スポーツ、運動(サッカー、バスケなど)	32
4	外出(外食、買い物、旅行など)	31
5	料理(晩ご飯づくり、ケーキづくりなど)	25

27日(土)から32日間の夏休みに入ります。子供たちにとって自由に使える時間が増えます。家族ふれあいの日での内容のような遊びなら良いのですが、心配なのは、ゲームやスマホ、タブレットに時間を費やし過ぎることです。PTAのスクラム5宣言では、「ゲーム(メールやインターネットを含む)は、家庭(我が家)のルール内で楽しむ」となっています。また、以前学校だよりでも御紹介した「スクラムスクール運営協議会」でも、今年度の取組の中心を「ゲーム障害、ネット依存」に置いています。各御家庭でも、子供たちが、夏休みを有意義に過ごすための、御配慮をお願いします。

保護者、地域の皆さん、1学期間、白羽小学校の教育活動について御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。一番の願いは、子どもたちが事故や事件に巻き込まれることなく、2学期また元気に登校できることです。(文責 校長;石谷)

